

和歌山市G-Pネットニュースレター

第6号（平成28年12月）

G-Pネットとは…うつ病の早期発見・早期治療を目的とした一般診療科医と精神科医の連携システムの名称です。

日頃は、和歌山市の精神保健医療にご協力をいただき、誠にありがとうございます。

平成25年4月から、うつ病の早期発見・早期治療を目指し、一般診療科医と精神科医の連携システムである「和歌山市G-Pネット」を運用しております。このG-Pネットをより活性化させ、先生同士の連携を深めていただくために、定期的にニュースレターを発行させていただいております。

今回の第6号では、①平成27年8月に開院された、いらなみのりこメンタルケアクリニックの院長 伊良波 範子先生のご紹介②平成27年度の和歌山市G-Pネット利用報告書の集計結果を掲載させていただきます。和歌山市内の精神科病院と精神科クリニックから毎月ご報告いただく利用報告件数は、平成25年度は12件でしたが、平成26年度は47件、平成27年度は149件と増加し、G-Pネットの定着が促進されました。今後もG-Pネットの趣旨をご理解いただき、ご協力の程よろしくお願い致します。

また、ニュースレター第1号から第5号を和歌山市ホームページに掲載しました。和歌山市ホームページ上の「和歌山市G-Pネット（General Physician-Psychiatrist Network）」（ページ番号：1001553）からご覧いただけます。和歌山市内の精神科医療機関を紹介していますので、一般診療科医と精神科医の連携を更に深めるためにご利用していただけたらと思います。

〇いらなみのりこメンタルケアクリニック

（田中町3丁目4番地 TEL423-3662）



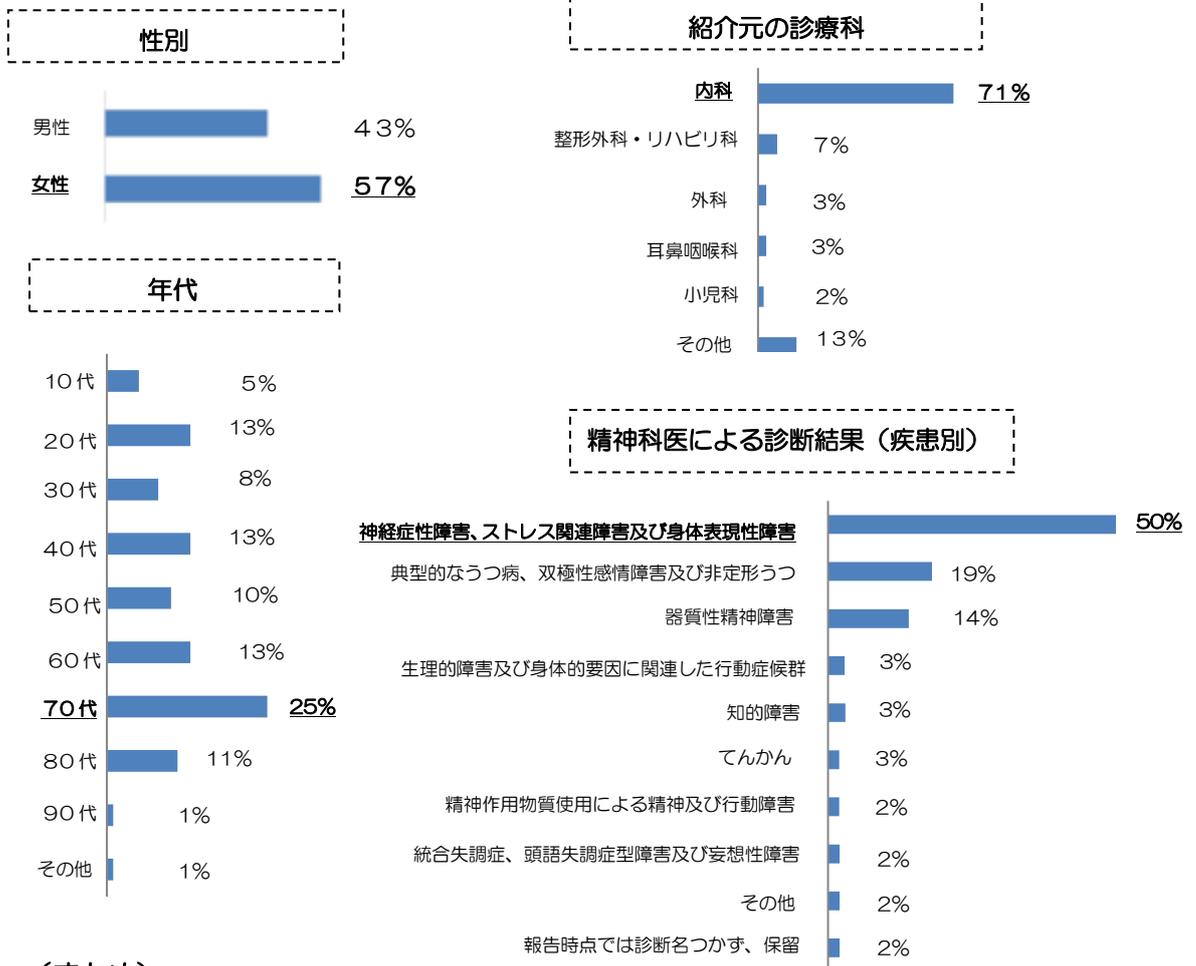
院長 ^{いらなみ のりこ} 伊良波 範子先生 ～メッセージ～

心療内科・精神科のクリニックです。当クリニックでは精神療法(主に認知療法)による治療に力を入れています。認知療法はうつ病を始めとする様々な疾患に対して治療効果が認められており、海外でもスタンダードな治療法として推奨されています。認知療法を用いて物事をしなやかに捉えられるようになることでストレスや不安を軽減し、日々の出来事に対して問題解決的に対処出来るスキルを高めていきます。

○和歌山市 G-P ネットを利用した一般診療科医から精神科医への連携状況について

(平成27年4月～平成28年3月の和歌山市 G-P ネット利用報告書より集計)

平成27年度に和歌山市 G-P ネットを利用して一般診療科医から精神科医に紹介された件数は149件でした。



(まとめ)

平成27年4月～平成28年3月の和歌山市 G-P ネット利用報告書を集計した結果、女性が57%と男性よりやや多いという結果になりました。年代別では、「70代」が25%と最も多く、G-P ネットがターゲットにしている30代～60代は全体の44%でした。紹介元の診療科別では「内科」が最も多く71%となっています。紹介により精神科医が診断した結果、「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」が50%で最も多く、次いで「典型的なうつ病、双極性感情障害及び非定形うつ」が19%でした。その後、「精神科に継続通院」が89%、「紹介した一般診療科への逆紹介」が6%でした。

今後もうつ病の早期発見、早期治療を目指し、「和歌山市 G-P ネット」の更なる周知と定着を図っていきたいと考えています。

※「和歌山市 G-P ネット」については和歌山市ホームページ上の「和歌山市 G-P ネット (General Physician-Psychiatrist Network)」(ページ番号: 1001553) をご覧ください。利用方法は、「和歌山市 G-P ネット～一般診療科医と精神科医の連携に関する手引き～」をご確認ください。

※「和歌山市 G-P ネット」についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

発行：和歌山市保健所 保健対策課 こころの健康対策班
〒640-8137 和歌山市吹上5丁目2-15
TEL 073-488-5117 FAX 073-431-9980
E-mail : hokentaisaku@city.wakayama.lg.jp